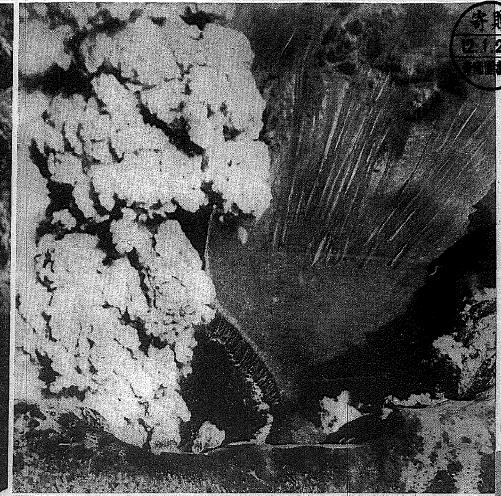
京







春初の蘇阿・國の

とリモリモは石上展高。く吐を火で也見を力威の以地とつ恋。森神大湖公立第つ往をロ火駅大の一界は 見らか近附度ヶ里千左下・吐森師丈見りよ牧ノ的右下・くそのをロ火駅大くはを覆てつ伴を動館、じま徒 影題長部演寫社本野河ーーーニュリーの介宗盃の寺町水たかやわたけ左上・ロ火吹大た

ところから、お底をこつそり卸

の男が、突然おころを呼び

と、とんでもないことを仰しや

思す。なにしてわたくしが年級 元から連れ出したであらうな。 口ばっくれてももはや無駄おや

スツ。何んと仰しています。

體並を置ふて、表向の脳の眠は、それたはお萬の国方より大快



始めたかという、その經牒を説明 しなければならないからっ 波しぶき (161)

さい。その前に作者は、あの子供一申上げませね。 殺と名を換へて、大反れた憑事を のやうに丸ぽもやな職をした美し が、たつた二、回だけ辛抱して下 も連く知りたいと思ふであらう。 い楽村の観光おころが、何ゆゑお 女が誰であるかど、野香は少し 妙玉寺の焼踏から機田された岩 S から ばい

す。もはやこの上は再びお願ひは の聴だつた。 おころは手動りの荷動だけを持 まつたく思いも掛けぬ無質の罪 過り寂しく 本丸を 立ち 出

「戦を取らせるといふのおで。」「えッ。」

名小路の奥手をとほり

神明の家へ歸したあとを、 送られた関節へ荷だけを乗せ

風をやる。

なんであたくしにお暇を。

お異を手引して、逃がした罪ち

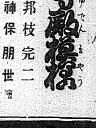
「もし、お女中さん。」

Told H.

それは柔村の聲だった。

蹇念だがらお

へおいては頂けぬのでございます よく贈りましてございさ



| 質の罪で、たかば脛の立つてた折 も折とて、おころは思はず相手の 非とも手を指しておくんなせる。 手がなくつちや出来ねえ仕事があ が、これにどうしても、人、 さんは立派な創設の御女中衆。是 「何も雅かしい仕事ぢやわえんだ 何が何やらおころには髪のやら 条付から着せられた無 とんと合数が行か から見たところお削 原的

その通りおや。

立派

た生誕人の

御金の口からと即しやい

やておくんなさるまいかに

「親みとえる」

しも迎う裏の御門から出て行き 何かといらぬ問答には及ばぬ。 る以上、さうでたいと云はせぬ らはは、はツきりこの耳で聞い

延命院の納所脚全の口から、

知られとは云はされ

| おれて、主人に仇する不心靜靜。| 「水の年別目をかけて取らせた恩

回查图定 錢 抬 料 这 とつとと出て行きやこ

今更言ひわけは関かれる

ことがあるんだが、何んと聞いた 『ちよいとお前さんに、組みたい おころの問へ主塞がつた男は、 物脳からにゆっと揺れた処冠り 用があるから呼びる

受き渡りより他系置い西外作の一線將士田時間の神の代での一線將士田時間の神の代で「国明十七日同盟」在曹桑和

警 傳達

酒井侍從武官

よって全面的にこれを収みた

と、同じ四二十七十歳年 /

里に七路戦に七谷

門は 比極支出として は世界大戦以

巨地と言はれてゐる、下院和一長リスタ

政府、解散をほのめか

たる増配総、電力総、選帯観察中限舊長衆に向け徹底依職機を加へ器に電力総、飛帯戦ぎ年限舊長数方面が外流開鑑についても自単低態度を示すとずにその慎適を政府の復募缴額にその中に繰り込まれて東京電話」総修総に総論方面の準備封釈は傳輸明け切過と城に忠と真劇聯を加へるに至つたが峻峻 微説の間に有力化しつよあることは沿目に値する、同より歌篇が歌府の歌歌を輸継せんとする以上の認めざる場合は龍穴を解釈するも可なりとする量便顧を良のめかし然もこの交換は単部方面徹に一 |歌歌は二・二大事代以後の革新演弾を続い展度に共元化したものであるから歌解方面が飲育の方針||嶽靜木引に陥れんとする作職に出でんとするに至った、之に對し歌府も延認所が駆行せんとする革命機解水引に陥れ **習内をこの帰側論に偲めることは順る財態であり、一方政府としてもその異態は豫算案の通過を第** 散を促出して一瓶を交へんとする決意が必要であるが限限を挑戦府に送つてゐる戦民南域として 範疇の無事切り扱けを欲してあるものと見られるが諸層中如何なる角度より突風が態

政府の對議會策

mm

門方針、東京がの動物の脈紋が推旋。なつてある。 既由首相を中心とすし十九日の定例協議では首相の施。 二大戦線の援助を懇望することに観察を開いて避害提出法案を決定。 十八日に蠍吠荊 (結聴成を活励して脚することになり十八日には蠍哮。 肚を決める意定であり 一方首相は に整く政府は對議開策に真全を現別犯話」議門の体質明けを目

定し更に對議師方斑につき提後のくであるが極近に至つて政府が設外相の外交演教等を附載正式決しる政府直顧部の對議情報は左の 散を行ふも可なりとする強硬、遊戯策を其他のためには飛行

ため機僚される大の損害や嗤ったリカ領却に、巨腦不明の飛行板の

下革命軍を援助してゐるイタリー

鼠々スペインに出動しつゝあり目

コンゴ御訪問 跳に入つた

下の右側が間はベルギー本画と 【パレンシャ十六月間出】マド

毎 亂を起す

問題が採頭してゐる折辨易俗の

り田蘭六子五百人

て更に軍人紛與の改善を闘る方一、陸軍省は石工事の完了を得つ

一と解せられる一幅の反對水鼓

館職の復発上事は元山

肝と打合せ中であるが必遇ゲー

に正式伝統を見る割であるして思京社気公使に内定、近日

--七日午後五時

ング写相の帰還を得つてイギリス 内容は前回同様イタリー政府と同 政府に回答する総向である、回答

リッド攻防戦

事委員長の言明

【マドリッド十六日同盟】革命軍 |マンサナレス河流域に對し禁烈な 愈よ最後の段階へ

形を整備してゐたが窓と

何と際へられる。レオポルド三世 「プラツセル十六日同盟」 ベルギ 農僧レオポルギ二世界下は近く

億五千萬弗の巨費を投じ

兵舍將校宿舍改築

館用内に長級起り兵士籠に人民職なかつたが既成十五日間地駅追革 の住民二千八百名から成る一般

|東西軍に反訴を動へし由中ア・ ガラ城に四号龍つた、十六日バ

三國義勇軍續

京城南陸道事務所の努力により十

七日午後五時から復復点城機輸出 行急行派に城池船京場行五〇四列

獨政府の回答

府はイギリス政府の最別作派遺歌 【ベルリン十六日同選】 ドイッ政

ン特部ポーランド公便タデウス・ 【ワハソー十六月回盟】 助リスポ 新駐日公使 ロメル氏起用

含みなるも尚哲品担却模様次節で 株式 島川振みの小口投げに射 用產 子公

上に関する第二次連牒に對し目下一コメル氏はモシフキー氏の後代と

朝鮮神宮水上競技人

やコンデイション悪

温明ったた

対路のは 西班代北

優のたり

待望の好記録など

京城 地方

本家とうVや伊藤長兵衛

がまる

、豫算問題 七日有田外相と常見三年を帰り、 | 健に第二次部児をなして大野

| 調点機の質点を刷することとなつ| 一上外務省通問局は通商外交のみ | 指を発れぬ機能である近く単に第二次質見をおして状態 | 夕上し着くりードニー ギリス戦所が能遇となって阻止し

狭定することを係他として野器間っが外務省内の民国意向は係の

有田外相と交渉再開

,ローマ十六日同脳] ドイツ 谷相

リング将軍はムアソリーニ首

外局に海外通信制査などを全部統

きため解決までには相互の新作曲

共産用のため占鎌され即数組織をした、西安には共産主便衣除一手腕、三賊、組城、守事略は何れも、東方部司令影響波が副司令に組政 | 報告によれば十五二級在西安、勝一産年は西安に總司令部を設け毛機 破職より十六二北平資献に強した。部分は西史郊外に分配してある「北平十六二同盟」西安外國人就「瀧方面に司つた、一部隊を除る 外人宣教師の報告 部分は西学部外に分配してゐる典

東京大相撲

加 四日目取和

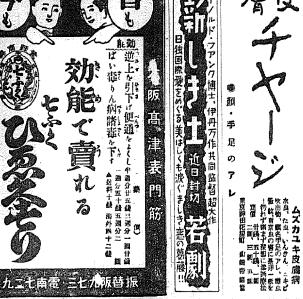
防鐵橋復舊

竹添町のボヤ

● 指間水虫・股間いんらん

曜氣配(十七日)

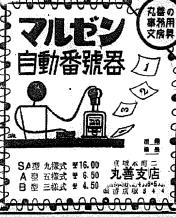
全般天氣機報













↑隹一ンへ溜覆し、十六日空大東前こ/ も蜀鴨南南間に突撃つ口がが切ら四尺 栗重 打合を終り パリから ベルザーたいといはれ、右腕脊髄膨上早く

ンへ錯環し、十六日佐大徳館にノ

イラート外相初めドイワ外粉省高しれた様子である

佛新濟館間その他の問題に関する

ンと氏はフランス政格自勝部と編 スペイン不打法的版なとに願しアンと氏はフランス大使プランソワ・ポ した、ポンセ大処は試済提振、対戦部プランス大使プランソフ・ポ した、ポンセ大処は試済提振、対

交渉の口火切らる







大使編綿

横綱玉錦の土俵入

(可容性)

ベルリン十六日同盟」ヒトラー

と總統へ動告

記念日を則して議院を召集、内外一着上されるが、京都道では京城近

郊の麻水川を手始めとして発部で

ロナチス政権成立 | 事業として七千五百萬<u>側を投じて |</u>

全師中小河川改修は同国の補助を一なつた、この工程は八百十八萬回

八百餘萬圓を投じ

十二年度から着工

「大師】十五二年後十一時半ごろ

並木に激突

運轉手即死

空トラック

经院の側近は之を機所に載例の服一次の十五ヶ川を、敗修することに

局山川、黄口浦川(京原郡)億谷)水原川、曲岡川(京坂線全西大門外) 王宮川(京坂線全

〇八世紀宝では近路に助った 永沙(三)は即死、助手麻町二フー 吉克銀雄氏所有のなトラックは蛇 で大邱に帰る送中の黒霊町二七六 **像泉郡川油面。松二地区二葉山路** 府は昨年十一月十四日ペルサイユ

【ベルリン十六日同盟】 ドイク欧

東城府の市邸地部域に対大百 々となる横橋である ・ 選問され、再び同ゴで顕立て銀元で表して表して、大倉浦の歌原地域に対大百 々となる横橋である ・ に歴にれたが思いくせがあつて、 ・ にかい質師によう十二年度はき岩浦 主道榜となるが貫瓊城は大荒神三 を轉々とし続り南端ので、明記は、 ・ に歴にれたが思いくせがあつて、 ・ にかい質が明記は、質師においてはからの作人。に対い対文部人には、 ・ にかい対文部人に対文部域とが、 ・ にかい対文部人に対文部域とが、 ・ にかい対文部人に

地主負擔は坪三

まづ永登浦と敦岩町から

海軍省令内容

候約第十二飜國際水路に碾する紙

町形工器百八十萬画、敦樹町は称一株定、水質画の整理地域は約六百

の一具催化である海軍省中内容次

可を得るを要す
可を得るを要す
可を得るを要す

和省行は右脳難に伊ふ航行自主版 理屋班を観表したが十六日の新神

た自由均等傾似を消分的に腹

國車艦のキーハ連河通航につき規士二部第六数第三百八十條以下外

政府の石決定はベルサイユ係的第

を数上する1 冒通出した、ドイク 外國軍艦はドイク戦府の許可を得

京城の區劃整理

省分を施設した、同時に剛保各國

對しても通牒を以て「自今

ル通航禁止 獨政府各國に通牒

に多大の原待をかけその値を施す、志順、米春葉氏などの政治工作にとったのので、中央が刊生之戦」「歌の安慰がは患よ朝地に陥り事措所観を華賦せんと精佳既工作を「と聞きつくある、是かたのポナ文相所観を華賦せんと精佳既工作を「と聞きつくある。 に至るは必至であるので何勝敗一 きこと数日の西安の動きは殺を狂哀に拮抗する一大瞬間を形成する 桁の内部抗野も満く大龍のに近付 る時は西北は第二の版西と化し附。総後の期待をかけてゐる、國民政 派の強硬派は事態数に至った以上、目される

【上海十六月间盟】 陜西の要地を | 三中全層を得たず武力前伐を取行 の大勢も情勢の急遽につれが次之すべしと強硬に主張し國政政府内

メリリャには

獨人部隊なし 英艦の調査報告

においてドイク人部縣は全然見か。忽び込み百八十九風を別取した金によれば洞臓の調査線はメリリヤ。しで十四日後周町太修文(ご)万へ 頤モロツコ高學極術館バイクハー【ロンドン十五点同型】スペイン 者した、イギリス施軍衛への駆击」ると右は栃内大部町山豊奈村県へ、日ジプラルタルよりメリリヤに勤してゐる派軍を牽上勢政が取職へ日ジプラルタルよりメリリヤに勤してゐる派軍を牽上勢政が取職へり入職診・ の軍事狀態制定を始ぜられたイギダー大佐の野崎に基づき、同地万 【華山】十五山佐九時ごろ府内数

女に貢ぐ

けなかつたと言はれる、ヴェロッ

ソリーニ首相の下に於けるファ組織する。その方式は大體ムッナチス首脳を以てする合藤騰を 選相シャハト 郷土のボリ羽込みは「ベルリン十六は同盟」 ドイフ郷 **父界の消息によれば月末の國際者** 時延期となつたが、ベルリン外 國會召集後

四安の動き注目さる

一府の内部抗争

ハヤハト博士

話に近づく

惟してゐるものと云はれる りを訪問することが効果能たと思 盗んだ金を (あ」は云つて田だやうなもの こちらは平松曜三郎、

看板の破片を持つて平内が見つて 道場へやつて、梯子をさぐらせる | 遠慮なく御選擇にして下さい一 腹三郎が弱んであるところへ、 が石は平内殿、これや有難い」

新刀試し斬り() 小金井蘆洲 演

行。不順といる

はやりかぜ、はしかかぜ、ねつ、百日咳

肺炎、其他熱に良く効く

今評判のふる血新療法とは

★、對手もさるもの、どんな事に びましては、原宗や状態が、素の形 でござる俗にいよ説の樹腐れに のお贈の拙香のやうな未然者が重 がしたのでござる。それも皆、質殿が、それが今日、日本晴れの心地

たるまいものでもない) でござる8 俗にいよ選の指膜まに、ころが御 い。さうまで仰したるなら有難く一成る趣、相分つた。嬰乱の健系

體毒から血液が濁り 頭重、耳鳴、肩凝りに惚むー

ふる血療法で血行を良くすれば

血壓は下り丈夫にもなる

若しも混者より優れた範別の人が 受納いたさう。然し天地は躓い。 あつたならば、この順刀は、その

つつを被かし観笑の遺跡五萬山を一さい。「一世の八人つた年で開釈食店に解了でした。」 で手期は日本頃れがするやうでご。方はあるまいと思ふ 「臓にどうも呼ない。衆氏のお嫌「虚が、林道を干臓すことの出来る」というという。 一般にどうも呼ない。衆氏のお嫌「諸の見るところ常代は殿の外に、」 び下さい。即ち避難の品はこの破一年松氏首尾よく参つたからお喜 9世の触りとしてお聴りをいたさ 心由は非常な必びでき、邪素のな 『それは寝殿の歴行通り、まづ拙

手足の冷え痛む人は

に能液を凝りし血行を焼げるからてす。此の人體の鬱とも云ふ可の遺傳により體や深く潜む梅藤か、ともかく是等の凝が秘罕の間の遺傳により體や深く潜む梅藤か、ともかく是等の凝めや親からか、或は若無の過ちや親から にわたる再検討は内歴樂で総に體外、排泄「る新療法を創見し等を用ひて居りましたが常研究所では現代醫業學を基礎に積年き「ふる血」を従来は蛭や吸痒で吸ひ取るか、破血劑で下す方法 ました。如何にして快癒に導くか。是非本療法の一讀を のぼせや平鳴り、唇凝りに惚の頃は誰でも心臓が亢進して、の頃は誰でも心臓が亢進して、 經痛等を惹起すのであります。 んだり手足が特に冷えがむ神

/神經痛 朥 超い脱脱なかつた父の勢ひ離が欠。中、原施が大魔御らぎ、近境では しましたる所、手足の帝え解み 館き腹形をいたしたい 思ひ私選一家では殿棚に売ちて居た。是れる郷にブルチ錠のお脳と し良好なので別職き買ひ来の形態 ます、前をはする路と思ひ、 振りで見られる様になりまし

ノを薬:門:專:兒:小す**ふ**:

難の服用しましたる所。紅路が少ます。脚き及び、理由を話してあまりを一何途所 河湾門でさいます機が肌ひ中上 から此の手紙音大統一眼分大手急

足や節々の痛みに悩んだ

たよりにしてるた父がひどい戦総(削略)大照程として一家の街が 病毒性の

| 就せて持つて出て栄太。 | 大小を定して扱つたが、このや機能が脱一葉 | 走しく自木の靴に何か | 「平橋氏、葉守道はこのガタク 「衆氏、誠に組織ではござるが、」た。 別に尻ながら手前の弾した大「御主人、それは何でござるが、」 た名力を見たら急に戦になりまし 『記念。小刀は九郎三郎秋 | 「お預りを成しませう」 ギラリと披放ってよく見れば、焼。窓に雌に現れ難の肉が壁に引きつ Tまつ、鬼も角類鬼を……」 と引寄せて真宗の刀に手を掛け 一能にかいつてしまひました、薬 る様になりました。それに仕事す 少しも以に出さずにゐましたので るのにとても大臓さらに見え、次 病院だと聞くのが郷な父は、

高血壓からきた永年の

頭重、耳鳴が快方に

ハワイ、パアパアロオア

高木 タミ

可能までも背みを慌びて、脳光りは欧四郎良景、名工の腕の研え、 | 事なもの、ためつすかめつ脳め人 | 解に想せて行く機なので心配のあ 予解が脈形して効果塊れたことをまり……のとお店の裏さんがフル

ばかりではなく、河川敗修によつ 戦なる。 説水で洪水防止の発間から 原職道士木郷ではこれ等の河川を

四三穀地入屋白漢(ぶを入て玄は間 『はこ逆状こ次近……」で類一九穀(古川梨次郎)の れば称うござる』 ればなうござる

事会長は物百六十キロであるが

利門(利川郡) 腹

花札で博奕

既、 指書の家には光型像水の品で

は不相應、天下無双の辺殿の如き こざる。所様な刀剣は我々の腰に

四名製珠繋ぎ

と云・真極的に方針を話ていゐる

中部祭中の平板岩はが路やみ一同 里四〇金匹裂方で花札賭博を開帳。

を眺めたます、呆然としてしまつ。物に無頓着の平内も、続くは刀

これは削削退いたさ

地區の制定

(四六旬五十百)

市に築き直さうといふ市協画に扱いのほけた京城の街を近代総式の部

十七日朝の概況

らば申受けまい ものでも ござら 「あく楽晴らしきもの」 る。断る名類を放なく質戦いたす。つござらね。能れるかと思へば液 一があつて、このくらるの強認はま

院内席迹原吉京東的 製創生先明良屋小

無元、進星、かかずの南込

▽記憶力が薄く吹出に苦しる脈れぬ人(稲華・顔錦銭鍋)▽頭策、乱切れして、鞭汗、格汗に優む人心國場き入・▽頭策、耳鳴、肩蓋手足の復れる人(中風、扇絲桶) 血液循環とうる血療法 果京市京橋属西ス丁地二ノ十一 古醫學

研究



冒季 安心小 スラくと熱 全然で、 兒 家庭 Ø 服み 必 C 適

- 1 表 マママ書 できま







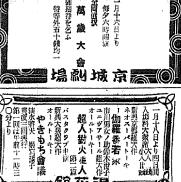








氮



韶花浪



WEトーキー 女の問題 原作 貴國子 世界子 国産ニ 江川 日本 原作 長田子 世界子 JOトーキー 鼠小曾唄祭 間作 長山 師

圆日活日活日活日活日活日活日

一月十七日……一月廿一日……五日间

+

日

和

一廣州スケッチ

| |提表原来外二名で選ぶの燃料 |

咸南の

ではこの不都合権まる三名を影響 に使用せんとしたことが問期間署

鐵道疑獄

に関するといつてある

機識板「不セウ」の中「平」の一一中、指示で終り第二日は用題ぎ午」左の末期かあった、
観袂主護は比

即士時服命、指示、慈善、韓國

当である

に染む歎願書

合官を動かす

抽籤で補缺となつた壯丁に

睛れの入營適よ

同一年分同一子:"直

小林 員助

上連瞬度の畑中に立つてゐる航空。日はお守の週次があつて清陽、答一公復は十四日完了

【平墳】去る十四点年後六時暗西 | で数水部守総裁の下に築行、第一 | 楽者泉城府内内磨磨之間外九首の

盗むにもことかいて

的は航空標識板

【平壤】表い人表の鑑道目数末逢|を高見遺船所で建造中であるが解|

夫への面當て

若要自殺未遂

温突の燃料にと狙ふ三人組

大同署で一網打盡

| 子リマス|| が果して何を急略する|| 消したまく今日までその生死すら|| 果今のところまだ々?っのまくだ|| 金融を財ഥしたものであるのみ、肝動解的にお住立。 つた、この漢字跡の思い技術を 一気の遅れた 出歌で中心に同語でも、即を吹くらたら朋後歌子回の遊りを書かず唯差正告邦としてあるが つた、この漢字跡の思い技術を 一気のではないかと意思の一致をみ 取慣の例字は明和六年以来鑑量 | アンスは平郷居邦線と記し見住所 | 設定 | ま住してみることだけは ** ののではないかと意思の一致をみ 取慣の例字は明和六年以来鑑量 | 大き者が「唯差正告邦としてあるが つた、この漢字跡の思い技術を 一たので本連密にその語でも、 | でを吹くらたら朋後歌子回の遊りを書かず唯差正告邦としてあるが つた、この漢字跡の思い技術を 一たので本連密にその語でも、 | 音がの | でを吹くらたら朋後歌子回の遊りを書かず唯差正告邦としてあるが つた、この漢字跡の思い技術を 一たので本連密にその語でも、 | 古を吹くらたら朋後歌子回の遊りを書かず唯差正告邦としてあるが つた、この漢字跡の思いな場合では、 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000

一面は極めて簡單

語。子ヲリマス』

果して護二ちゃんに關係ありや?

頭をひねる平壌署

画笛でに自殺をはかつたものであ (三)といひ夫婦喧嘩の揚句夫への 結果石は平北昭汲町龍山巡高吉女

麻薬を密輸 二人にお目玉

|和から殿殿へロイン五グラム人り||金馬範刑事が警戒網をくどつて時 大中の問題第五甌大和港行四處哲|外藤田嗣飛行掘附近に臨込み仲の |未共謀の上後で見知り越しの奉 | 非常網を張り祭成中间十時過ぎ府

咸奥高女教諭 黑因

八重

で大日な製鋼消費先は散撃開節、

ンベラ海棠から製縄事業に額向す 騰したため深算が取れなくなつた

ので振興組合では過去四年間のア 統の進出により脱物たる原草が高 やうに致れて行つたアンペラも羅

では今回有志

安東輯安間を

咸南辭令(十三百卯) **西班牙尼州斯斯** 任公豐訓導、命朱伊公曹勤務 集伊曹同 全 演 周

鳴渾新業公司が

任保護司、命威與保護腳察所動坊 | 道立成興際原語員 崔 裁 命遊公園、流州郡美江に配置す

咸南辭令

胸痛さん。『正面調査系写』でき たはよび十二百次に達しろ連立つ「施設の政等要要を行ぶことになっ」、 向線さん。生と同園英葉等による「の勝王牌議所ではこれを載に流戦・ 【新羅州】 弘尚彫州四面出田副金 | が顧定的のものとなるで好をほじ

义もや水禍 共に落込んだ友を見捨て、

施を振つて父兄の敬言材料を提

質に立振に出来てゐ の交換文章としては 「搖籃」の新年艱を では

自分一人逃げ歸る 供して交兄にまで見せるやうに してほとい、海州では先づ第一 に交兄の教育からかかられば真 の徹底した兒童教育の質読を落 げることはむづかしい

末恐ろしい少年

内側町七一年来渡点元 万に破が役)衆と戦り機能した、原巣を敷めるり……十五月年後八等下分ごろ府「館版を環候三天元」=仮名=の住り……本月日本後八等下分ころ府「館版を環候三天元」=仮名=の住り年の 金庫艦 資中であつたが超内八千代町製造

「親金元峰(**)の南人は昨年十一 と時にいたつて届出に援し直もに 四時間を選ずしての超スピード敏の飛(**)。蔵陽郡安義巡獄川里別科 して憲走した、新義僧器では年朝 金穂郷も資際したが居出後並かに「大郎」第山町二二八町科四郡郭 徳さん(**)の所徳金一干側を御取 遮漉嘘傷では腐名して配量に返院 | 入し投宿中の定州邑内殿監師任明 川邑川北田斗範(ようと北部田上原稿 | 道産業技手(安邊)内老配明千堰脈節に一名の戦がほの上連神した、独人は同帝中の記 | 任蔵與公立高等曹連學校政諭 | 佐方 政議與 | 八日午前一時ごろ所 | に離れんとした独人を選起大格師 | 成與高豐電記 佐方 政議の | 佐藤県公立商業役校政諭 | 大百年前一時ごろ所 | に離れんとした独人を選起大格師 | 成興商業量記 木崎 帰族りは新義州名の新記録である | 命襲向廣道出向

整備することに決定、目下有志の台、同ホース十四本、服装一切を金三千國を見てガソリンポンプー 消防喞筒購入 [咸興]

忠北辭令(千六日前)

されてゐるので張興館ではこの微 みなので製罐事業の將来は有些視 **新国に上り今後相當需要増の見込**

ier.

保斯運動が順を備へた高潮耐大爆。わけである【新嚢剤】 鬱維和江航業公司では「彼の低麗と共に非常に使利となる 新鋭發動船を建造

十五日午後八時十分ごろ爾部 | 永期を 待つて使用することに な 大邱の火事

停車をしてやつと無事、取劃べの「るので、上流方面の旅行器には第一中窓穴が砂路に飛火したため、
 停車部の女をに隠せが避望、総く金・聖であるから終す日間・港渡司来、十万変取だした、腹壁は夕延まの女でに輝むが込み自食を遂げんとした。
 権めてあたが前業高速重は重力大。と兩節の屋根を窓戻したのみでに極めてなどに関する同型項目がけてと、
 機械での飛び込み自食を遂げんとした。
 権めてあたが前業高速重は重力大。と兩節の屋根を窓戻したのみでに近めたりがで、
 (・第一十五日午後五時寸ぎ選出)線下り重入した。

口したものとみられなさんの質用 跳つてしまった。 金同郷さんは全 はに至った市場手明なので蜂落死

は関係人の受けた曹優問育六十一一性の豪地を作り見て赴渡の光には、便ならず、皮の野地が自教六子八百七名 との目標では興奮の女性を閲覧 出来しまく」へ決診すってよってある。 とし内面的によびは関西系領等にな子。のでスケーターは勿談を入員二十五百八十四名の多数 解放者を保り見て赴渡の光には、便ならず、皮ならずのはなりになる。 これ。便ならず、皮ならすの壁器事機な 青はよくと、経過すっやうと看義 のピスケーターは勿論、氷上被向

【劉南浦】大行副談前認成の前衛「流ん三池市、平壌等では祀人を独 港号改善を要望

十銭

てるこので「南浦を西方の羅揮た」

△手限金軍不破り金一囲五十銭を | 延込みで厳重取調べ中

河野的四萬回程度とみられこの外

局出鑑所の三ヶ處で四裏面、一

を常に御愛用 グ强力で永持 に滲透して行き諸障害の根源に作用し 快く治す秀拔の効めて大好評楽です。 ちする薬効がチカに皮下 下さい。妙布は貼るとス

り肩 ゥ 腰 經 ₹ Ø チ =

効 主 過 胸 乳 五二十錢 ち 咽 肉 勞 Ø 喉の み **=** Ø Ø 挫 回錢 痛

大阪商船出帆

雄基一慶興郡四出面長南流は去 -四、十五の兩は掲載四館議部一道建筑事件は服飾万土木建築前員一 邑面長會議

被告十名へ 求刑を終る

【成典】咸南土木界を断めした数】別金二百五十四

吹き出でた軍國 [大四] 斯春期

愛婦の

擴充强化

平壤村大道

の軍皇時常非超

野食属に促出し途に同砂食館を動してHat りますこま分除液の結。網印を蒙した軟顔腔を総由線底盤、解込んであるが、米る二月十二個印を蒙した軟顔腔を総由線底盤、リーニー 格となったけれど加茲の結果加級 機、星歩とも人意させて敬しいと のと進躍してゐた同君は大いに落| 帝國本院の 第一線に立ち 得るも 國安閣学者は極重では見事里 三番となり音楽されぬことになり 服育里都兩點行 九百名の信仰を一常になさらと意 温度観光音をはかり、現代氏二千 化顕光室行ふため各町里部位の分 招換しその際変国が人物分割の量【平별】析では近く里町長河最を 區分班設置

> 宮 F

9

六日松山殿隊區司令国から同職隊 かし人類が辿い目下層念に派務に 「国けられ全家を歩げて緊張せし」 館を盛大に開催し程極低な変物が 人館本来の使命達成に邁進を期し の紀元の世即には分は弦の結成式

洋秀

女子佛教青年團

女子青年たることによつてよる女「咸異」御佛の慈光の下に正しき

連絡船内でお産 船客擧つてお祝ひ

船長さん自ら名付け親

長谷川章 に左右の雖石を後ぎがたく、此日 と してのたならば、自は恐らく間

つゝあり削器既の来南は各方面か らしめよ」とのいるいは日まり ら期待されてゐる アンペラカ

後三回記憶人しては南山町支那人「インを治財してあたことが想覚、 ケ月の即決處分に附せられた次重を取り寄せたのに味を占め前「暴災」の方で毎日弾片や驟暖(p)十五日大晩器にご用となり懸弦三

超スピード檢學

同宿人から一千圓を盗んだ男

僅か四時間でお繩

用といる豪華振りをみせ縁に飛じ

【新義州】服料不足の心配はご

ら製組業へ 振興和合轉向

と文

す。こんな時には最も簡便有効の妙布 發作し肩腰の は多くなり、 実気は日に加はり身體潜機能作 活動力は低下する時節で コリ、疲れや筋肉の痛み

から死責不期の国温があった。

腕に覺えの時計屋の小僧 金庫破りの荒仕事

9

緊要時間(語 大時四四 トル ●四大

の押へとなつては、黒に蜜々原場。 苦戚を河源るもので、真下黒ロ十二 石を収扱せねばならぬのは、鳥の .供歩を運んであるものと見られ押へとなつては、黒は虚々順制 制限時間各八時間

3

0

○日0十七の遊びは常然であるが 大神が無に徴奏みかけてゐたので 力 女神が無に徴奏みかけてゐたので 左右の離白を凌ぎがたく、近のてゐたならば、白はおらく間既此手で感想の如くロー丸に遮断

æ

澒

钿 薬

房

11-31

1 朝鮮郵船艇出机



毛力國家 管理案

秩定の上版整座開版面提出される

一定を正的 市力國家管理とは記

するものに外ならず交ブウトサームにより結局技術が即的局部の組まは民有関連の期間を提到し三よにあり結局技術が即的局部

修正は一郎之を表版するとしても

る統

の

現化を

の

要と

考へ

たから 上げたのは地位の出力事業に到す

占め、実際の金里等石が五百に一 萬の食職月に一位、五百に三位を 州の軍器側在が干五百、五千、

位、干五百二一位、五干と一萬に三

本題の事に認知など半島一流選手

班関係、金河吉、到仁順のトリオ 位を占めて領を吐きその他工芸の

相撲春場所星取表(配片)

晴れたり曇ったり

けふの天氣

米の観谷、様に質兩嬢の記録は

一試行終し後水上師問題を残の手で全

金両音 (江界) 劉仁順 (江界)

688

競売高級 裁析九太五基礎 神柱 大笠 鏡荷 別 野 変 神 里 山 受 川 岩 甲 由 岩 島 川 川 園 川 樹 山 岩 川 川

各大會派遣選手

日本選手職子の他大爾へ朝鮮代表

本大領唯一の収穫で調査を行った

女士部に出場して見事この即かし

面山小学民在学中にも關らず山本一として産業すべき選手の設備を行

つた結果左の通り決定した

たる事を吹かせた、なほ女士三子

ンクにウインタースポーツの絢爛 の目壁しい語籍があつて活躍里す 根本書言に関する修正は断手挑戦

遞信省當局の見解

は解析が出力問題を関東として取られてあるが協田首相を初め限的

派では精治さり

進退を明らかにし

十七日前齢里リンクで繋行、卵項型十二回頭卵神宮素質板上大野は

の通り四温日和の暖かさに過され

金児昼記録は借られなかつたが衰 てリングは戦弱となりコース不完

○男子一萬米

て所信を天下に問ふ胜であると云

四两细海三阴海 下式

イダーに属すら統制不可能なる

門は政府総に對して敗る唯首を とになったが、自家開院各派の

して再能なしや声やに切しては 大管を行ぶ、我不同は説の現れより 大管技行が、我不同は説の現れより 大管技行が、我不同は説の現れより 大管技術を対しては ファイン・ 関右修整については効能その オース・ 関右修整については効能をの

する意向で親母本趣相も木案の根

本指押を理事したる場合文は設蔵

館にだける言論は十分算理し電力 であつて趣信省の市力國家管理案

は影響のものと何じてふるが、職

未丁児他如何なる名目を問はす本一統制の趣言選択の上に更に適切な

國民政府苦慮

解析が続は政府にとって極

高失政府の撤削を十分聴収して版 殿館の歴度決定を回避して御師にめて不利で映民間線とも電力小委

推動の上記らに態度を決めんと の町に出ててあら結果液便物

二、介法技術上の點より見らもか。本主義と見るの他なし

思うしかしてとれに関する地

正を提出し個れば果る性能にのに関り形が百匹を服果良気への公正を提出し個れば果る性能にある。 りの職跡にポーター学は悪と網地で勝る来し撃る不可能である。 「上海十七月間點」和平安郷行品では梁金融を提示的に課する修正に立ては梁金融を提出する修正に立て、「上海十七月間點」和平安郷行品で、近年後衛王の騎士り見るもか

【上海十七日回盟】和平交渉行誌 の問題として狂福衛氏の道な殺

宋氏一派窮地に陷る

が競争的に決定するまでにはなほるが関展政府としての時間収拾策 の實態を期すべく活動を照けてる くとも暫定的信息として和小解決

ばなられ、造田、有田卉安の建ばなられ、造田、存田の様である。 然るにその資訊を観響である。 然るにその資訊を関係がより失敗と言はればないら失敗と言はればなられば、関支を機能と言されば、

る現内開設大使命の一つ関田、有国网ル交目を中

選手の活躍自覺し

紅二點の輝く記録をまじつ

が上に絢爛の花咲く

一年度東原編成に當つては東班工業能力共他につき、實施維制をなした

針は大要左の加くであると見られてる。

答師に萬至を埋すべく細心の側側を重めてあるかこれが容易も げて輸煙を集中するものと見られてあるので思想。転回はこれが 特に物質財策に関しては最近の物質が認の質問に強み合派は異 艦城市、医特別軍、特別自作管山安原地が山根してあるので休

心ばならぬ強情に鑑み官吏の滅侵復活を斷行することは差控へたい、 四二物信時が昭前四物僧嬰世中が世の類様復門のいては、國民一般が崇稅其他によつて非常な負擔を甘受しなけ

論難を豫想さる

度を捨て、是々非々主義を以つて一は馬揚射或の全面的再機能にまで 矢を放つことゝし従来の鄭泉監修してある現状に臨み場合によつて 25日外交全般に亘り観い地報の部一方面に反射の壁棚で旅標ならんと

英雄し勝頭先づ外交問題をひつき一及ぼるんと

一て有田外相を狙上にし且獨勝四一に封する國民の動画を決視しつ

ロッドの「情報に可り全面的外」

に裁の演説要旨

るが町田橋裁は第一陣に起たすとる、交頭が、関手度管算器につい 観をなし所用確認に整むことにな、動物館手段をよるべく決争して必要の大綱につき指示し結合機動演、暦の出標如何によつては東大なる

東京佐鶴 民政派では二十日の一変失敗につき正面より周田有田

大自に於て町田組成より対議的一交と組み領底低質問題答をだし成

へるがこれがため國民生活実定 軍事費の能限は日む立位すと考 軍事費の能限は日む立位すと考 して

古語の如く何の段めの園的なるでは所謂という。これがため國民生活安定、合が如きことがあって民亡ぶの一つては所謂の能限住民などである。

も難の機構の場内を埋氏を送つ

と脱取一新を標榜する周田内間の を接続して物間の非鵬を指来し斉

ては語情が開い時に於て既に始初

/ 價騰貴の對策

馬塲歳相の答辯方針

が今龍南に於ては米世有の尨大豫雄、鉄鯱歌車、公韓城前、金 独自郷都県織跡の結果十七日を以つて一艘海湾映前で終了した 東京荒酷」大家省では連日艦和地跡に周境遅ら以下方隔部跡

野山氏等大所が南麦良の手で起草

自下山道、內之前、沿行、

現内閣の歴設一新政策に可て

新しています。 神の子政制に質すべきところは、カラコーー 中がにこれを置しこれを使官に、支持があるとしてよ 中がにこれを置しこれを使官に、支持があるとしてよ では、対策を置して、対策をあるとしてよ

り安電力統翻がは歴年の熱烈でる

明かんとすると「如何によっては既は栄養感に於て「紅、東方僧、廉「極勢の小僧癖はと歌僧を通じて」如何によっては既は栄養感に於て「紅、東方僧、廉一極勢の小僧癖な大衆・背立べき秘密」しては對疏を重く改断の堪郷態度 【世 帯景記】國民間罪、俳願大衆

外交政策を解析し続けるできましたいと表しの影響方法を考慮したいと表して外交政策を開力して外交政策を開力して外交政策と関力して外交政策と関力していた必要しの影響方法を考慮したいと表しない。

是非一家協選の成立といか事も考へら ■ ねこともないがその場合は終局推

和版内閣の外交付前班動につき上七

11世午より回民間 温本部に院外郎|

施上は於ける所用組織の連門演出

時期け最近野頭にこれ等諸問題を中心に相當波瀾を保むされる

興黨的態度を一

是々非々で突進!

ので結局会議會に於ける電力問

外級問題純神師問題問題配などの語の選い言葉に復情の觀を確してこして田殿し有志代談古師結成節に になつて聴つて下さい』といふ宏川、播劇自民はオブザーヴァーと を大事に育てまず安心して良い人川、構劇自民はオブザーヴァーと を大事に育てまず安心して良い人 項を後定、今後も影響に際じて難一の兄の職をもら一度みて下さい。

高血壓、

ΙÐ

風

心脏飞遗木

は世世上の新療法

思・神經痛や

問題達も心の中では強いておた

【ロンドン十六日同盟] スペイン 闘する中間報告 獨義男軍活動に

東京大相撲

(土切得中の中元時)

北側向は傾向

シビレなど脳道血の危険ある人 不認識問題親、鬼種へい、そうち

せん想でせき、たん見切れ呼

精月まび、動悸さらく、血密

の活動問題については十六日イギ 額モロツコに於けるドイワ戦期軍 衝家の範疇に限定されてある模様 にほピイツ。張忠軍は出動しをらずりス海軍省に中間報告あり団方面 トイプ人の行動は大部分校師、技 所神山(寄り可り)駒ノ里 (寄り可り) 上羽花 大八湖(寄り倒し) 出羽花 大八湖(寄り倒し) 出羽花 大八湖(寄り旬り) 大平山 (寄り可り) 大平山

民政黨の對議會策

馬政長官 新年度から

【甲五甲語】は体験方面では略局しい諸議策が修正文は振り消しの選「怪職される機様である、しかして 路林沢国が無信になつてゐるが新 年度より継ばを解いて聖徒長ほか |東京電話||医政局長行は現在長前 専任にする

貴族院方面の観測

て異算、配纏、能力、変響欲音、一の理に用でることも五し傷ないで、あるので療像を原保館と異に文献庭外突朦朧の種聯郷や中草とし一音くまいがさりとて誰もに魏靜쀑、調査といい五軍が影響を持なして してある、(特飾期子能)所に於て歌」ない歌声は解釈を除行する謎には、「情馬の竟栓動におよび鬼鬼歌題のの即途に對して左の如《鸛詢客下』命に激辨するとしても 長減を存た。 場際局は一般馬蹴舞術の外亀用週 いて一ありる、結局の財制値を受けつと一段能合館として 山澗場改長が一緒し次長には陸南 るので與信長は信能と共に文献

川岸師團長

外交糾彈運 動に兼出す

統師に退儘医邦国院分職の初度部分組山港海川、大郎、大川の各部 一副行為語へ、十七日午後十時十 川岸須北崎瀬長は段野る湖、石田

版したいと参うり演じの供れが多分にある、政府「破賊組の世話人節を場き後者(戦)献に向った、廿二百年後:時廿二七 外交融資」。

直話題特急

どんな姿勢でも自由自在 次属北于東町(電話花戲 五六四六·四三四四)

氰持ち良く簡單に吸入出來る

新

海くなったおつむを軽く指って ッポリ第に置れてしまつたが方 「見さん、昨十七日夜の何は? 熱は育もの本町署司法主

まる暇もない参加張りであって 百価金塊価権といふ犯罪史上会 と解験な国籍を展拝して明天 則の事性を輝く掛くなど間の暖 P六十国国の国派による優力、

何時ごろからともなく取開べた 一句だが、誰か選者はみない 「花屋の間にて)これは近作の 『想き出の世夏大島で活建

どういふ風の吹き廻しか、 して四国語語帰属 家 受用を得て何ります。 一般に関いて、 一臺一 永久重置 4 全部大概に大學技院御用

東京 西陽町出



題の旨意や子

年金 特別立替

◆賃倉庫 門張剛二計師

特別等贝

四种特色本人然后 口川 中町 田村 町 町

電話 品質人 看護 卵似层型数点层的

世上八人政立まで、「在在)
中が四条を開きる。 田之間
女中・大の名名は八人間 田之間
女中・大の名名は八人間 田之間
京原磐町 厚 昼 飯 館 京原磐町 厚 昼 飯 館 **聞** 配到那奶奶

花柳病專門戀 ※ 京日辛内

同等工科學校

△建築學科 四 十

名名

R備。飛躍的增設

電影子目塩井醫院

CONTROL OF THE PARTY OF T

では、その服用。他生意が重を結婚がに致らる。 であら難力な。 一種主選権の深能検討、発生法則 は、手派にて発き申込されより。

朝鄉雖行

株式名義言替鑑明十二年1月十六日。北村田村二年1月十六日。北村田町村本田川東大田町町株井橋町場了出版報報等第十二年代日東村大日東大台橋城里等第十二年十八日

配表を常化し 神理権 キリウマチで手段に入れて限るので 吸用器 ヒー く響き苦しむ人

中や機能が痛んで困れる人は神経痛・ヤリウマチで手足能音

今津研究所(選問年)

卓く大阪市阪急級三國・前

アメリカ

消費税引上げは已むを得

の波部く高からんとしてるる状態。 解を得機をしめてある。無條的狀

イリッピン、サモア、グアネ方各一、加助航空世艦、で他にフ落水穀雞削、掃運船、網逐単艦

はありませんか、これが脱因となっ百指を削減するといる消極的

一関病者にお焼めしたいのは「健康」 方法として、老人の方々や一般衰 慢性衰弱病者

英、米、蘇 ともに 脳化

握く草町・破料車の直上専に伴ひ早 開発の全国性に正、取引状の新設と直、砂糖、醋物用さ配の用度、

東京電話 三十億四十萬回の 難問に逢はん煙草の値上げ

年度形大器がは我側改革に基

高に建造等を進め太平洋方面

移劇の一つ家(カット上の質異は最終者施田さん)

犯人撰真の事かがりになるでうな内 はやチンと整 頓され、何一つ

見られぬささずかな平和な村で、れん、に続け込んだ、異夜中の異の部がた何を保もで植の光さく、陰して心も内地人が人類が見るとした地の中には魅力からが表して、質ない。実には暗見合いの附近で感謝を引した地の中には魅力かの移民の

血の海に浮ぶは孤獨の老婆

老齢に加

胃腸を惡化させたが







の することは損難さある、經遺業 内のなかなと強力が開発者の対策と の質像となった治療体 は 一種形によって決定される方の 会 が立ては一型高となってもるが がではないかと考へられる る。るためには可であるそってあ る。ためには制で関するをそってあ る。ためには制ではないかと考へられる と、小変の朝きれなりのではないかと でしていかと でいてあるが、 でしていかと でいてある。

きのふ入城した藤山日糖社長談

米國の二學者

が一般表

藥病んり

本舗 七日牛分三 翻 计七日分十 圆

十三日分五

大阪市東區南久太郎町二丁目 竹村製劑所

◎全國薬店あり

は 最切の節は本舗より直送す。 製リベールと御指名あれ、萬一 製リベールと御指名あれ、萬一 (送料不要)

警告 自家尿道洗滌や素人の局所 療法等は凌酒を逆に巣へ押込ん 療法等は凌酒を逆に巣へ押込ん 変に確つたりして散火な目に遭 のて後悔する人が多い、最も値 さればならね。

一、藥効を融るにはリベールの一、藥効を融るにはリベールの、専門家に就き顯微鏡にない、服薬後日をが最も早道で、服薬後日を追ふて政協療を行つて貰ふのの服薬がし、内服後の尿を探し、薬効を融るにはリベールの

一、尿道を侵しつゝあつた無數一、尿道を侵しつゝあつた無數

本 劑 Ø 特 徽

淋病患者の排泄する尿或は腺 を顕微鏡で検すれば無數の淋 種類の旺盛なることは吾人の 種像も及ばざるものがある一 日趣過すればする程繁殖激增 して特勢募り之が體内に移行 して各機能に大なる障碍を興 なるのである依つて一日も速 く之が穀崩排除に努めねばな らぬ

恐ろしき淋病菌

+

声・要 ひ の BBY MILK

世育幾 界。兒。百 的經 萬 優験の 良を優れいるな

社會式株乳煉汞森

岡福・屋古名・戸神・京東 天泰・連大・城京・北台) 會商スリイ 店理代總洲 満及本日

施て優秀

製備す



元寶歌 社會名合本大

デビックの型 価二十四円 選挙をしる (美くしい量上) スーパーオリンピック オリンピツクカメラB型 ¥ 35.00 ¥ 15.00

店商生柳·店賣販手一本日